学校名　　狭山市立堀兼中学校

本校生徒会は、「さやまっ子の誓い」を

承認します・　承認しません。

本校のいじめ防止に関する実践

令和4年度生徒会スローガン

Keep on Going

～仲間を信じ進め～

具体的目標

1. いじめゼロの推進
2. 清掃活動が自慢の学校に
3. あいさつを響かせよう
4. 委員会活動の活性化

上記のスローガンのもと、4つの具体的な目標を立て、今年度の活動がスタートしました。4つの目標のうち、最も力を入れて活動しようと思ったのはいじめゼロの推進でした。

5月初めに評議会を開催し、いじめゼロについては1年を通して活動していこうと確認しました。

これから今年度の堀兼中学校で行った「いじめゼロ推進」の足跡を追って説明していきます。

5月　学級討議

いじめゼロをまずはクラスの中で考えてもらおうと考え、いじめのないクラスを目指してクラスでの具体的な目標と活動を話し合いました。

6月　生徒総会

5月の学級討議での決議を発表し合いました。この発表はリモートを通して行いましたが、その後、掲示物を作成し、発表したことが風化しないよう、全クラスの教室のドアに掲示してもらうようにしました。

また、生徒会新聞(右)に記録、全校への広報、学校HPでの発信を行ってきました。

生徒総会を出発点に

生徒総会が行われました（右写真）

今までの2回の学級討議の総括を兼ねて生徒総会を行いました。昨年に引き続き放送を利用しての総会となりました。今回は各委員会からのこれからの活動方針や活動計画を委員長が事前に出された質問に回答しながら解説をしました。承認作業は右の写真のように議案書の表紙（表は青、裏は赤）を掲げ、賛成反対が目に見えるような形を採りました。また、結果は廊下で待機している本部役員の連携ですぐに集計され、速報しました。会の後半はクラスごとに話し合って決めた具体的な目標を発表する時間でした。下に各クラスの決意文を一覧にしてまとめました。

安全委員会は生活安全委員と名称を変更、昼休みのボール貸し出しは安全委員から体育祭実行委員へと仕事を移行していくことも決定されました。最後に平沼先生から4つの目標を一人一人がしっかりと実行していこう、これからが大事と指導講評をいただき、会は終了しました。

（左上から）
生徒会長の言葉
安全委員会に対しての採決（3－4）
安全委員長の話
部活動委員長の話
廊下で採決に参加している委員長たち
本部役員決意表明（下）

1-1 （採決） "黙々と行動して、使う人のことを考えながら掃除する。
自分から行動し時間いっぱいすみずみまで掃除をする。"
1-2 （採択） 誰に対しても自分から積極的に明るく笑顔であいさつをする。
1-3 （採択） 負担な行動から相手の気持ちを考える。
1-4 （採択） 元気に積極的にあいさつし、返すときはみんなで明るく返す。
2-1 （採択） 自分から心を込めた採択をする。
2-2 （いじめゼロ） その自言かった人を帰りの会で発表します。
2-3 （採決） 効率よく積極的に掃除を行う。
2-4 （採択） 愛想良く、さわやかなあいさつをして、コミュニケーションを増やす
3-1 （採択） 1年に1学期は3回、2学期は4回、3学期は5回以上採択をする。
3-2 （採択） 相手を尊重し、頃に応じたあいさつをする。個人の具体的目標を立てる。
3-3 （採択） 気持ちが伝わるように、誠心誠意あいさつをする。
3-4 （採決） 給食の準備を早く終わらせ、掃除場所に2分前には必ずつき、一番きれいな教室にする。

決意表明をする
クラス代表者
上から順に

1年
2年
3年

「いじめゼロの木」を取り組みの象徴として作成しました。生徒一人一人が自分のクラスの発表を支える言葉を「葉っぱ」に記入しました。

☆ 葉、1枚の力では大きな木を繁りません。しかし、葉がたくさん集まることで大きな木を繁ります。友達同士の関係でも似たものがあると考え、木を象徴としました。

7月

PTA運営委員会にお邪魔し、生徒会の取り組みの紹介をし、保護者の皆様にも「葉っぱ」への記入をお願いしました。

夏休み中

狭山市教育委員会の先生方に堀兼中学校の「いじめゼロ」への活動を紹介しました。「葉っぱ」に応援メッセージを書いていただきました。その「葉っぱ」は全校に紹介し、木に取りつけました。

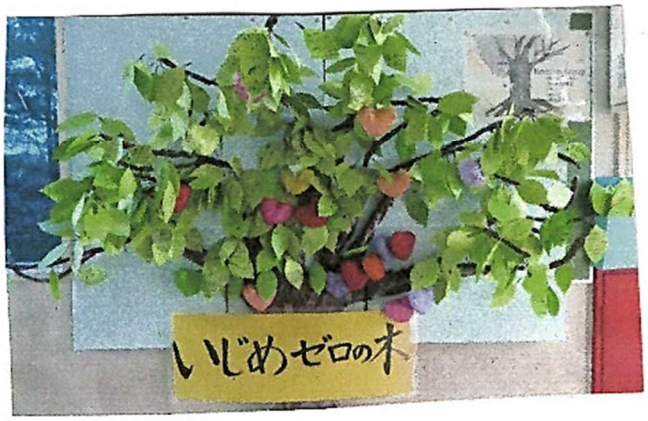
11月のアンケート実施といじめゼロ全校集会

いじめゼロ月間に合わせ、5月にクラスで決めた行動宣言の見直しを行いました。本来は全校が集う集会の形をとる予定でしたが、コロナの情勢をうけ、リモートで開催しました。

まず、クラスでの宣言について、達成度を図るアンケートを実施しました。そして、集計結果をもとにクラスの代表生徒が成果、課題を発表しました。本部ではクラスの達成度に合わせて「いじめゼロの木」に木の実を実らせました。

季節の変化と共に、木も、実際の人間関係も変化していきます。

1つ1つ、本部役員の手で作成しました



ここまでの活動を振り返って と今後の活動

そもそも私達は人間です。いじめゼロの完全達成はなかなか難しいものであると考えます。時には、人間関係のこじれやいざこざ、いじめが起こるかもしれません。私たちは異なる個性を持っています。お互いを理解しあり、認め合える努力をした時間が長いほど、良い人間関係が構築できるのではないかと思います。私たちはあらゆる場面で想像力を働かせて、これをやったらどうなるのかを考えていく必要があります。客観的に日々物事を考えていくことがいじめゼロへの鍵であり、今年たてた目標を意識しダメなことへ向き合うための機会を生み出すことができるようになるでしょう。これらができれば、いじめが続くようなことはなくなると思うのです。

学年末には、今年度のいじめゼロのまとめを生徒朝会の中で行います。そこで「いじめゼロの木」がさらに実をつけ、明るい木に変わることを全校で確認していく時間を共有したいと思います。

— みんなが過ごしやすい環境は自然にできるものではない。私たちは築き上げ続けます。—

R3 — R4 生徒会長